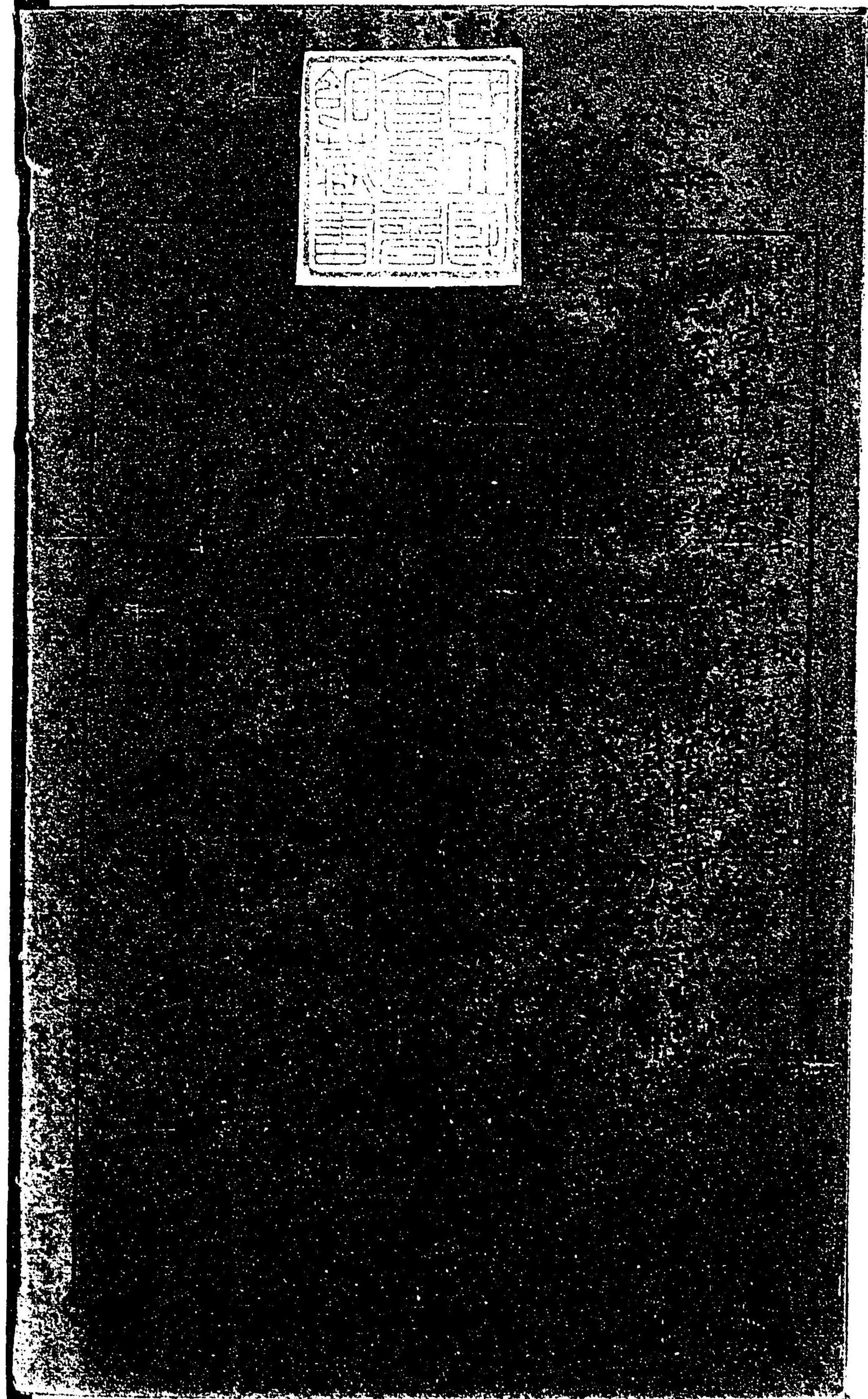


鄒馬溪膝果圖 全

291.95
N316y



耶馬溪羅漢寺保勝趣意書

文部省 許可書(寫)

文部省令宗一一號

大分縣下毛郡上津村

羅漢寺

大正三年十月三十日付願寄附金募集延期ノ件許可ス

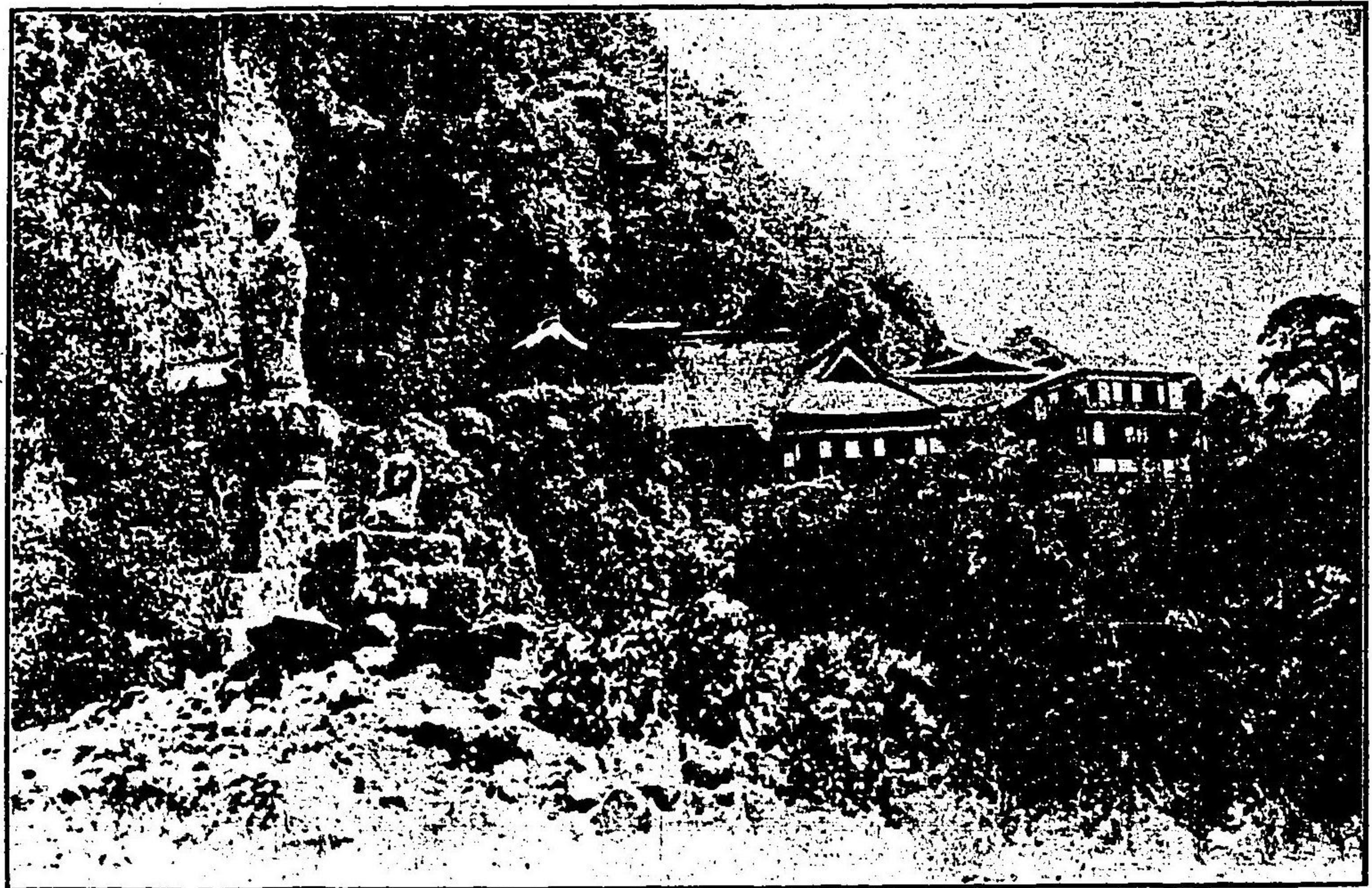
大正四年十月九日

文部大臣法學博士 高田早苗

文部大臣印

寄附金募集規定

- 第一條 耶馬溪羅漢寺ハ時勢ノ要求ニ伴ヒ汎ク篤志家ヲ募集シ其淨財ヲ受納シ以テ諸殿堂ヲ修理シ接賓書院ヲ改築スル經費及ヒ維持金ヲ蓄積シ是レヲ保存スルヲ目的トス
- 第二條 篤志家ニ對シ報恩謝德ノ爲メ左ノ名稱ノ種別ニ準シ其祖先ノ靈牌ヲ新築ノ靈牌殿ニ安置シ朝夕ニ回向ヲナスノミナラズ春秋二季大法會ヲ修行ス
- 第三條 篤志者ニ對シ永遠ノ優待法ヲ設ケ左ノ三種トス
 - 一 特別名譽員 一名 譽員
 - 一 贊助員
 - 一 特別名譽員ハ
 - 篤志寄附金五百圓以上
 - 同 寄附金貳百圓以上
 - 同 寄附金壹百圓以上
 - 又金品寄贈ノ多少ニヨラス本事業ヲ翼贊シ特殊ノ功勞アルモノ
 - 一名譽員ハ
 - 寄附金五拾圓以上
 - 同 金參拾圓以上
 - 同 金貳拾圓以上
 - 又特殊ニ亞グ功勞アルモノ
 - 一 贊助員ハ
 - 寄附金拾圓以上
 - 同 金五圓以上
 - 又殊ニ功勞アルモノ



耶馬溪羅漢寺其一

第四條 篤志者ニ左ノ優待章ヲ贈呈ス
 本章ハ御參詣ノ節受附員ニ御示シノコト若シ御持合ナキ場合ハ名刺代用ノコト

第 號	優待之章	裏
○	優待之章	本章持參ノ方ハ本寺ノ規定ニヨリ待遇ヲナスモノトス 大分縣耶馬溪 羅漢寺 年 月 (取扱者)

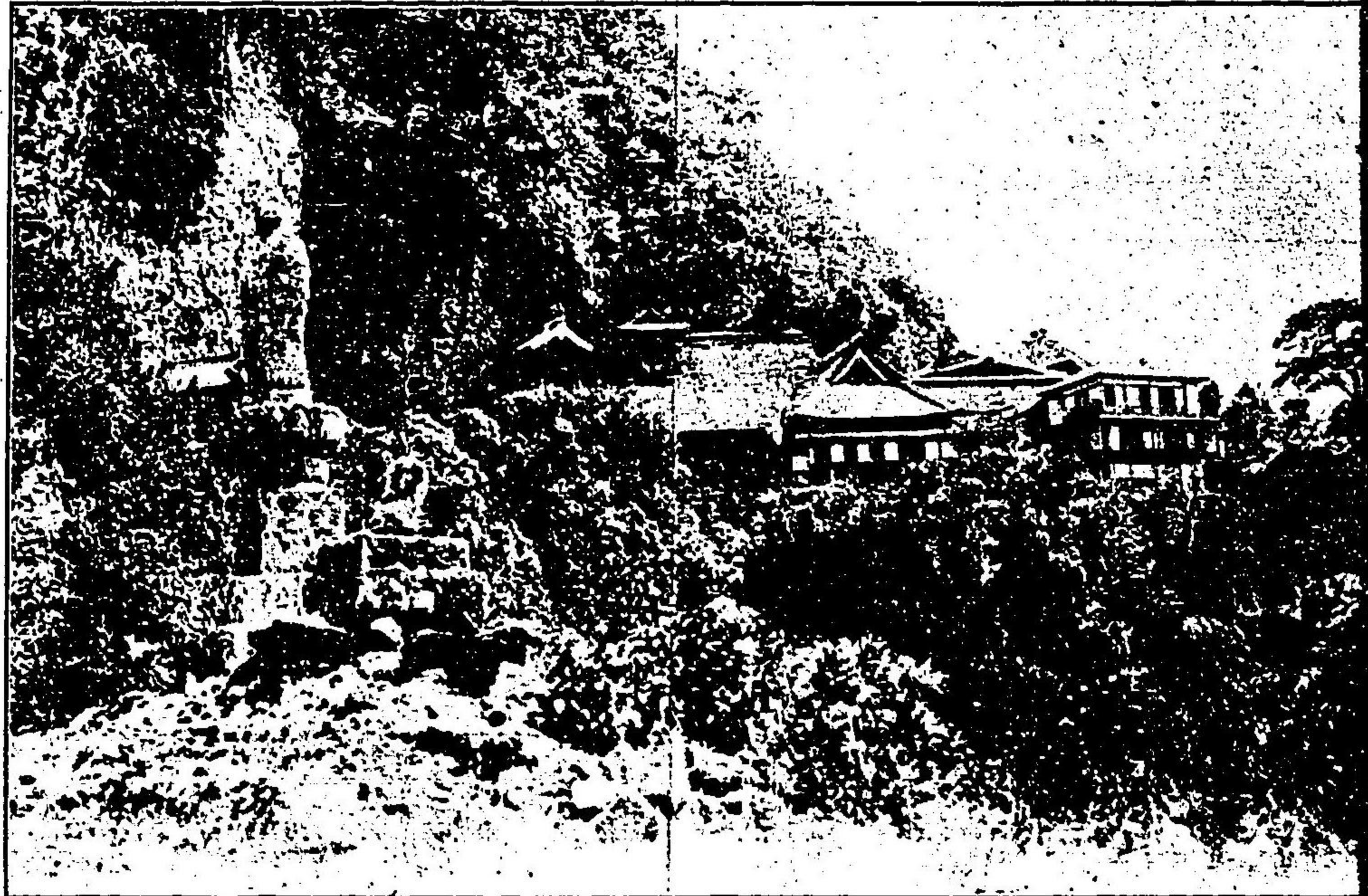
第五 條待遇法ノ概目左ノ如シ

- 一 篤志家ノ種別寄附金額及ヒ住所氏名ヲ詳記シタル芳名錄ヲ永遠ニ傳フルコト
- 一 第二條第三條ノ主旨ニ準シ特ニ其等級ニ據ル位牌ヲ造立シ永代日供月供ノ法會ヲ修シ及ヒ其家門繁榮ノ祈念ヲ永遠ニ執行シ尙石面ニ芳名ヲ刻シ不朽ニ傳フルコト
- 一 篤志金五百圓以上ノ寄附者ニシテ御參詣ノ場合御家族ハ勿論紹介アル人々ニ對シテハ同寺新築ノ大書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
- 一 同金貳百圓以上ノ寄附者ハ御家族御同伴新築ノ大書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
- 一 同金壹百圓以上ノ寄附者參拜ノ節ハ新築ノ大書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
- 一 金五拾圓以上ノ寄附者參拜ノ節ハ書院ニ於テ無料宿泊待遇ヲナスモノトス
- 一 寄附者參詣ノ節ハ凌雲閣上ニテ茶菓ヲ呈シ左ノ個所ニ案内ヲナスモノトス

(山門内拜觀所)

- 香雲閣 無漏窟 五百羅漢 針ノ耳
- 華鯨樓 吹出ノ彌陀佛 高源水 舍利殿
- 堂内階梯廻リ 寶物館 說夢堂 指月庵

- 一 特別名譽員ハ
- 篤志寄附金五百圓以上
- 同 寄附金貳百圓以上
- 同 寄附金壹百圓以上
- 又金品寄贈ノ多少ニヨラス本事業ヲ翼賛シ特殊ノ功勞アルモノ
- 一名譽員ハ
- 寄附金五十圓以上
- 同 金叁拾圓以上
- 同 金貳拾圓以上
- 又特殊ニ亞グ功勞アルモノ
- 一 賛助員ハ
- 寄附金拾圓以上
- 同 金五圓以上
- 又殊ニ功勞アルモノ
- 但シ金壹圓未滿ノ寄附金ハ祠堂法ニ準シ志納部ニ編入ス



一 其 寺 漢 羅 溪 馬 耶

第四條 篤志者ニ左ノ優待章ヲ贈呈ス
 本章ハ御參詣ノ節受附員ニ御示シノコト若シ御持合ナキ場合ハ名刺代用ノコト

第 號
優 待 之 章
何々員 殿

本 章 持 參 ノ 方 ハ 本 寺 ノ 規 定 ニ
ヨリ 待 遇 フ ナ ス モ ノ ト ス
大 分 縣 耶 馬 溪
羅 漢 寺
年 月 (取 扱 者)

- 第五 條 待遇法ノ概目左ノ如シ
- 一 篤志家ノ種別寄附金額及ヒ住所氏名ヲ詳記シタル芳名録ヲ永遠ニ傳フルコト
 - 一 第二條第三條ノ主旨ニ準シ特ニ其等級ニ據ル位牌ヲ建立シ永代日供月供ノ法會ヲ修シ及ヒ其家門繁榮ノ祈念ヲ永遠ニ執行シ尙石面ニ芳名ヲ刻シ不朽ニ傳フルコト
 - 一 篤志金五百圓以上ノ寄附者ニシテ御參詣ノ場合御家族ハ勿論紹介アル人々ニ對シテハ同寺新築ノ大書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
 - 一 同金貳百圓以上ノ寄附者ハ御家族御同伴新築ノ大書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
 - 一 同金壹百圓以上ノ寄附者參拜ノ節ハ新築ノ大書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
 - 一 金五十圓以上ノ寄附者參拜ノ節ハ書院ニ於テ無料宿泊優遇ヲナスモノトス
 - 一 寄附者參詣ノ節ハ凌雲閣上ニテ茶菓ヲ呈シ左ノ個所ニ案内ヲナスモノトス
- (山門内拜觀所)
- | | | | |
|------------|-------------|---------|-------|
| 香 雲 閣 | 無 漏 窟 | 五 百 羅 漢 | 針 ノ 耳 |
| 華 鯨 樓 | 吹 出 ノ 彌 陀 佛 | 高 源 水 | 舍 利 殿 |
| 堂 内 階 層 廻リ | 寶 物 館 | 說 夢 堂 | 指 月 庵 |
- 第六條 篤志御芳名并ニ寄附金額ハ順次羅漢寺境内ニ揭示シ尙會計ハ普通會計法ニ依リ詳細ノ收支共時々新聞誌上ニ發表シ報告ヲナスモノトス
- 第七條 寄附金ハ確實ナル銀行ニ囑託シ協議會ニ附シ決議ノ上再建經費及ヒ保存費等ニ充ツルモノトス
- 但シ大阪ニ出張中ハ二十三銀行大阪支店ニ特約保管ヲ依頼スルコト

大分縣下毛郡耶馬溪

羅

漢

寺

攝器口座福岡一九九四番

南區天王寺六萬體町

大阪出張事務所

鳳

林

寺

内

羅漢寺住職

電話南六七三六番

中

島

得

聞

事務主事

伊

藤

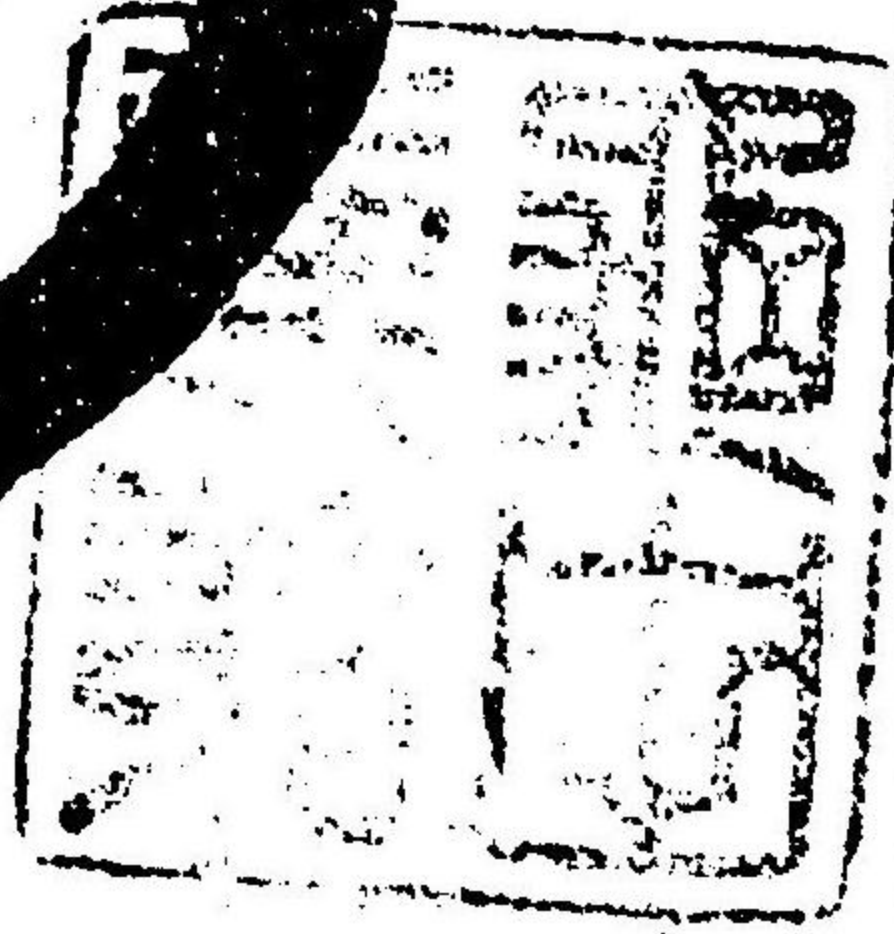
辰

次

郎

291.95 N 816y

泉
好



瑰奇



門

松石



壯麗

一六居士時題



奇巖勢
接連



摘山陽先生游耶馬

溪句

潔



序



山陽賴翁嘗遊我豐以堅馬溪
之勝爲海內第貳爾來濟勝文
雅之士遊蹤相踵于詩于歌于
畫以發揮其勝槩直入田翁亦
曾企馬溪十二景圖今也國華

中川君刊翁十二景圖併明治
十二家詩將以公于世君因中
邨生以徵序余上與君未相識
也今君躬屐京師而寵嘉戎西
鄙之勝區以顯于世余與田翁
皆豐人豈啻謂之同感乎物之

通塞顯晦果有時也余何以獨
可憇歟無言哉且我豐自古稱
多名勝特翁之鄉瀑泉尤多就
中如白水瀑全國要有其比余
曾一遊瀑流皆自巖虧噴出真
個水晶簾也長殆涉二町許聞

米國與亞弗利加獨有此種瀑
布他處絕無有然則地球上三
奇瀑其次在我豐他日翁將畫
其勝以公于世中川君冀其從
惠焉哉

明治戊戌三月 十七日



披麻与亂氣折
帶魚斧劈石
然諸大家斲法
屨奇跡或如玉

筍抽或似瑤簪列
若解綠為衣
蘿紅以綴

耶馬紀勝之二

一
士





方今
擊道
狀如
函以
是館
形隨
曲巖
吟如
徐行
意偏
閑入
空山
名茲
峰下
右極
擊道
洞內
五入
道人
畫





金吉邨後藤氏
墳墓之圖
少岳州長浩官



羨刃智光居士

居士俗名又兵衛不知何所為人
住若東安房而寓之者三年其於
為人志氣英爽其志應後言而
眼光射人于恒遠若大夫者之
送於遊而為一居士乎

永應三申午年正月廿九日自叙

劍刃山時生紫久石碑闕故因茲
里人蒸古新立石碑資助冥福
步也

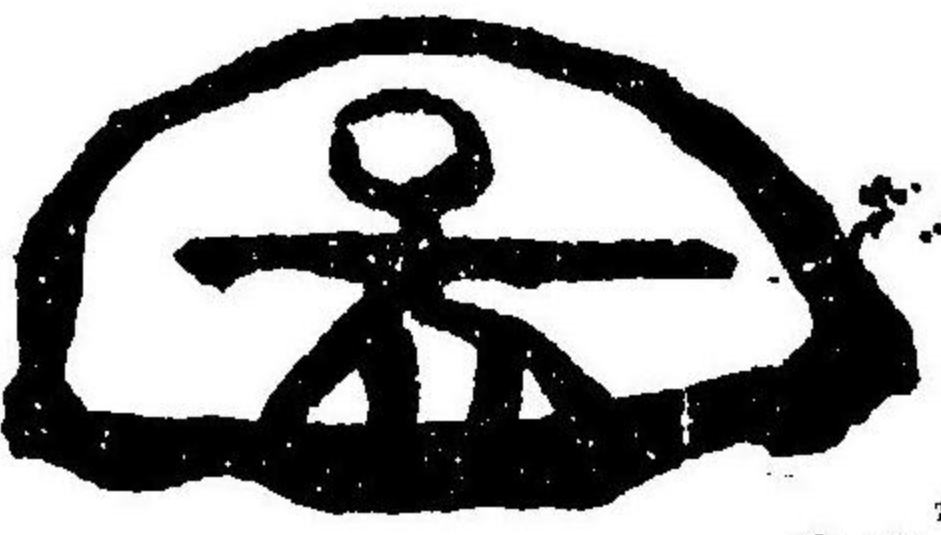
寶曆十三癸未歲七月

願主金吉村伊福茂助

浪華寺西易堂書



聽馬渡勝景



336444



唐原梅花
竹邨
朱子



唐原

了溪之影昔何更梅
花去返竟流如故清烟
月外一峰高雪是唐原

唐原

竹邨山人



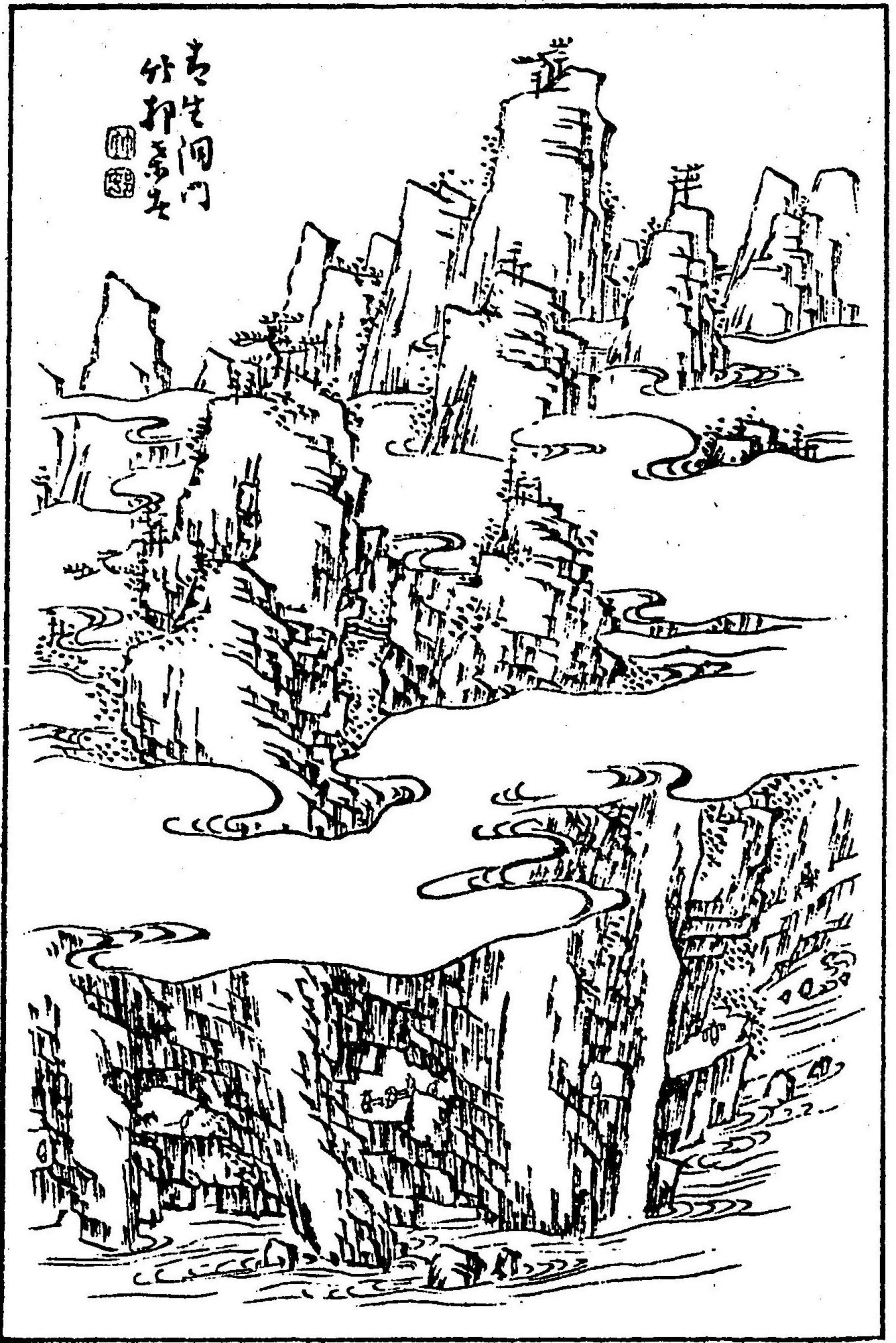


急激如飛瀑香魚
 多激洄一蹴其人餘
 勇充兄潮游來
 香魚遠 尺素於

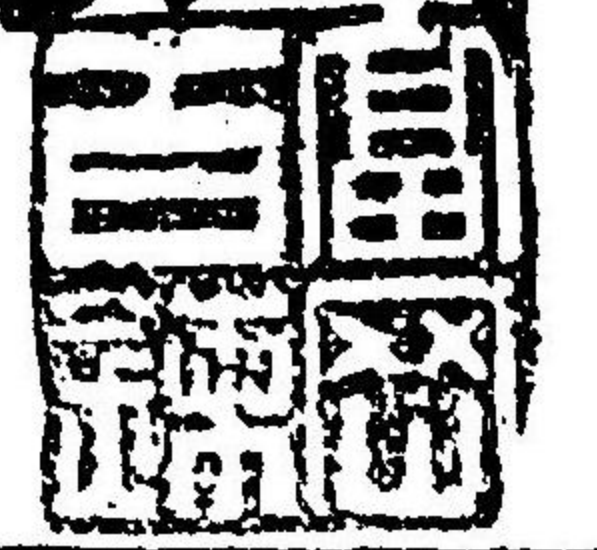




丙春
 已登康古河入溪那
 坂呼佛山送尔可安
 用尔人留物
 佛板 少岳 印 圖



巖筭洞溪路亞面
 行接蜀其躬
 策以貢真慈
 洞門大佛切
 鐵齋
 高生洞門記





羅漢觀月

小齋寫

寧醫山中乃風傳雲外
鐘魚然出戶望白雪詩
為峰 丙戌臘月与

朱鶴峰游郭馬溪少憇于羅漢寺
遂入日田訪五岳上人是當時之杜調也


陽城王都外矣



古羅漢靈跡



齊寫


 梁中風物自依然
 懷之勝：十年後洞石
 梁攬心方：交氣之平
 似少靈像

山古西維漢拜



霜餘林木自蕭蕭
 岸人家隔一橋
 穿先跡照外溪
 雨逐歸樵



洞鳴橋
 秋晴
 戊戌春。寫
 于不說齋
 少岳軒
 (Seal)



范後倪迂黃古濼諸
 家風趣趣看稿南宗
 畫訣君休說耶言沈
 以是亦歸岳



溪却雪影散青
 槭葉如風一色
 殘照滿山柿葉紅
 柳坂天江



柳坂天江
 正八
 天江





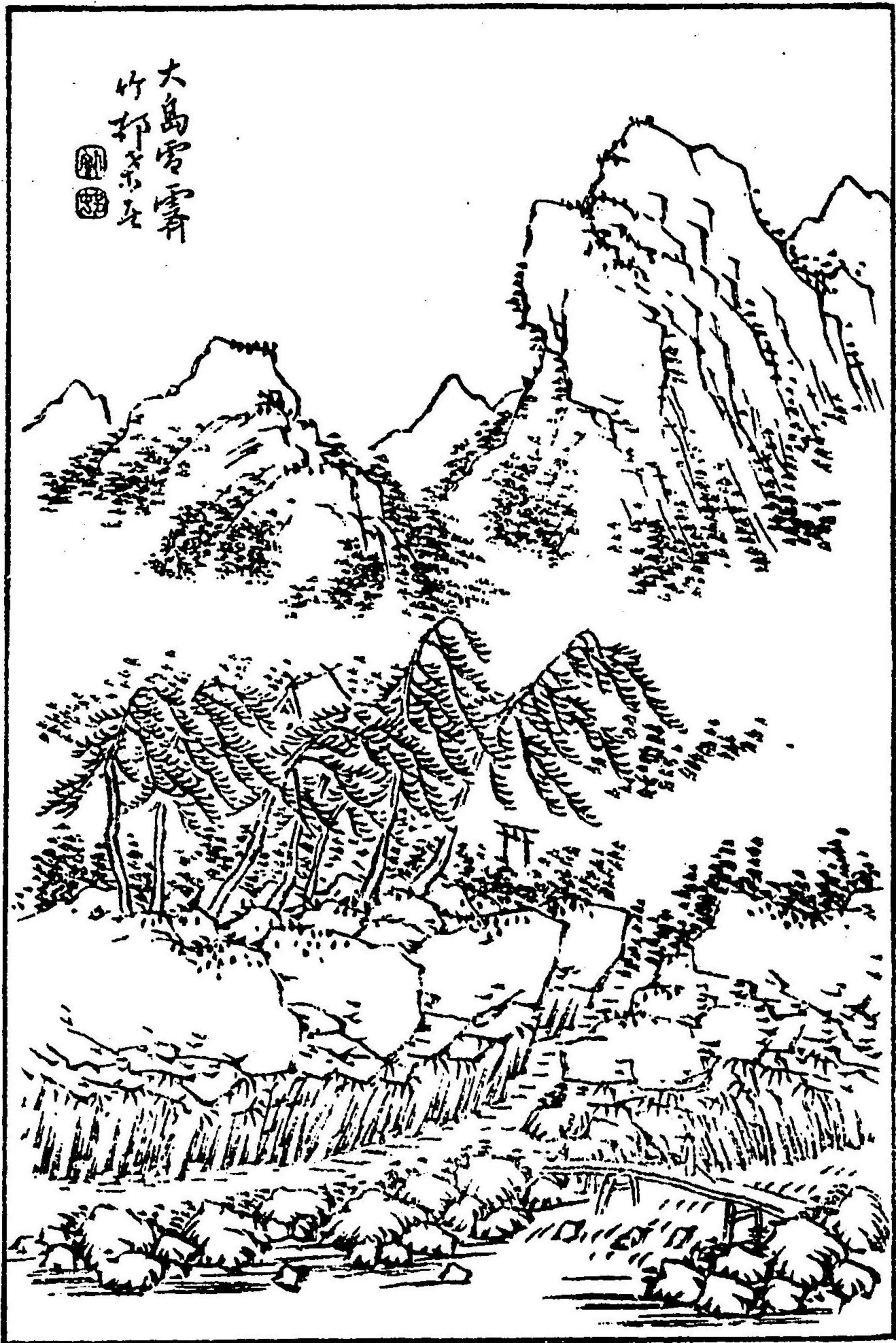
此觀何所比漢畫展仙寰斗折
 蛇行水丹崖翠壁山路通洞
 門裏村在岫雲間酒店不要
 客帘影午陰閒

叔却



白雪瀼紅葉林密畫
不成境起山陰道寒
鞭騎手行

三洲



前年名白碑
萍水
漂來潭底滄
近世難逢
懷丙智奮
揚汝定何
人

姑甫



小齋寫
守賁雪曉

明治三十二年二月廿八日印刷
左 三十二年三月十日發行
明治四十年二月廿五日再版

版權所有

著作兼發行印刷者

大分縣豐前國下毛郡中津町武原

中川常太郎



大分縣豐前國下毛郡中津町

發行所

中川國華堂

大分市東區心齋橋通四丁目

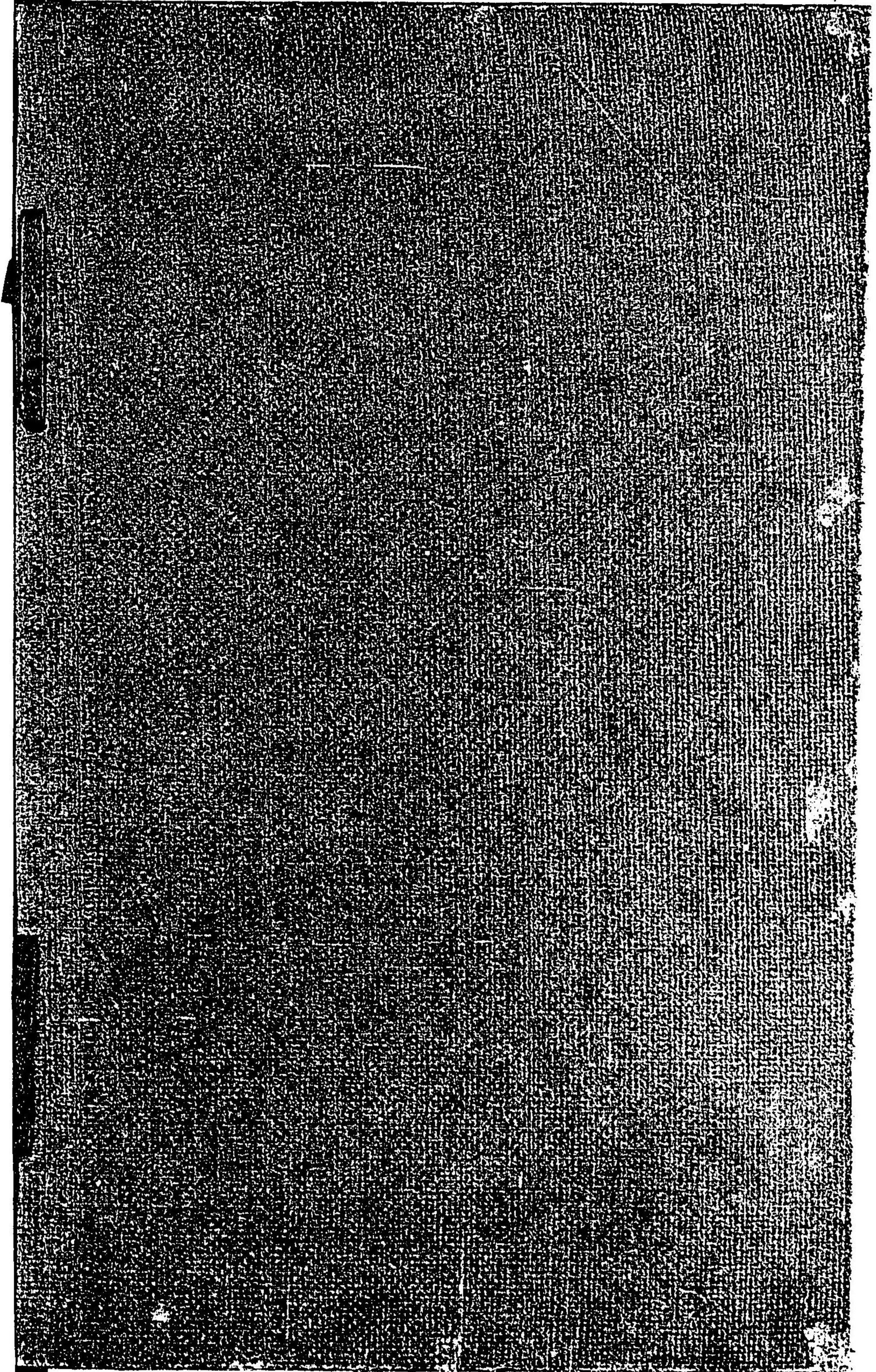
賣捌所

赤志忠七

東京市日本橋通壹丁目

左

大倉孫兵衛



026345-000-9

291.95-N316y

耶馬溪勝景図

中川 常太郎/編

M41

ADC-4131



291.95
N316y